



サブジェクト・ライブラリアンとカタロガーの両立に向けて

2023年2月10日
アジア経済研究所図書館 小林磨理恵

「令和4年度アジア情報関係機関懇談会」@国立国会図書館関西館

目次

- サブジェクト・ライブラリアンとカタログガー
- アジ研図書館の多言語目録
- アジ研図書館の業務体制と課題
- 両立と連携に向けて

• サブジェクト・ライブラリアンとカタログ

• アジ研図書館の多言語目録

• アジ研図書館の業務体制と課題

• 両立と連携に向けて



自己紹介

東南アジアを担当しています

アジ研に就職

- ・タイ語学習
- ・司書資格 (通信)

2011

前任者付き切り
で、タイ語の目録
作成を始める

タイ・タマサー ト大学図書館 に派遣

- ・雑誌の調査

2015

2016

帰任

ビルマ語やラオ語
の学習+目録作
成を始める

2018

2019

2022

インド時代

現地
出張

・タイ

タイ・タマサート大学図書館
(2011年大洪水で上階に避難した蔵書)



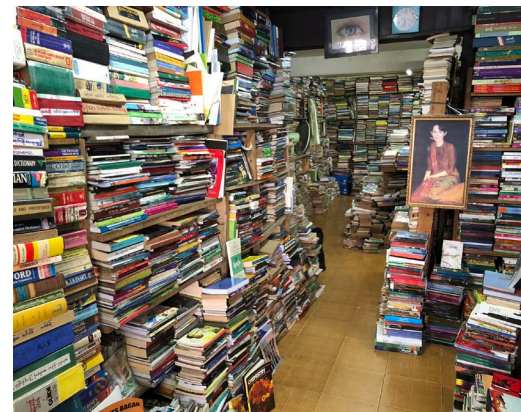
・タイ
・ミャンマー
・東ティモール
・ブルネイ

東ティモール国立大学図書館



・タイ
・ミャンマー

ミャンマー・ヤンゴンの古書店



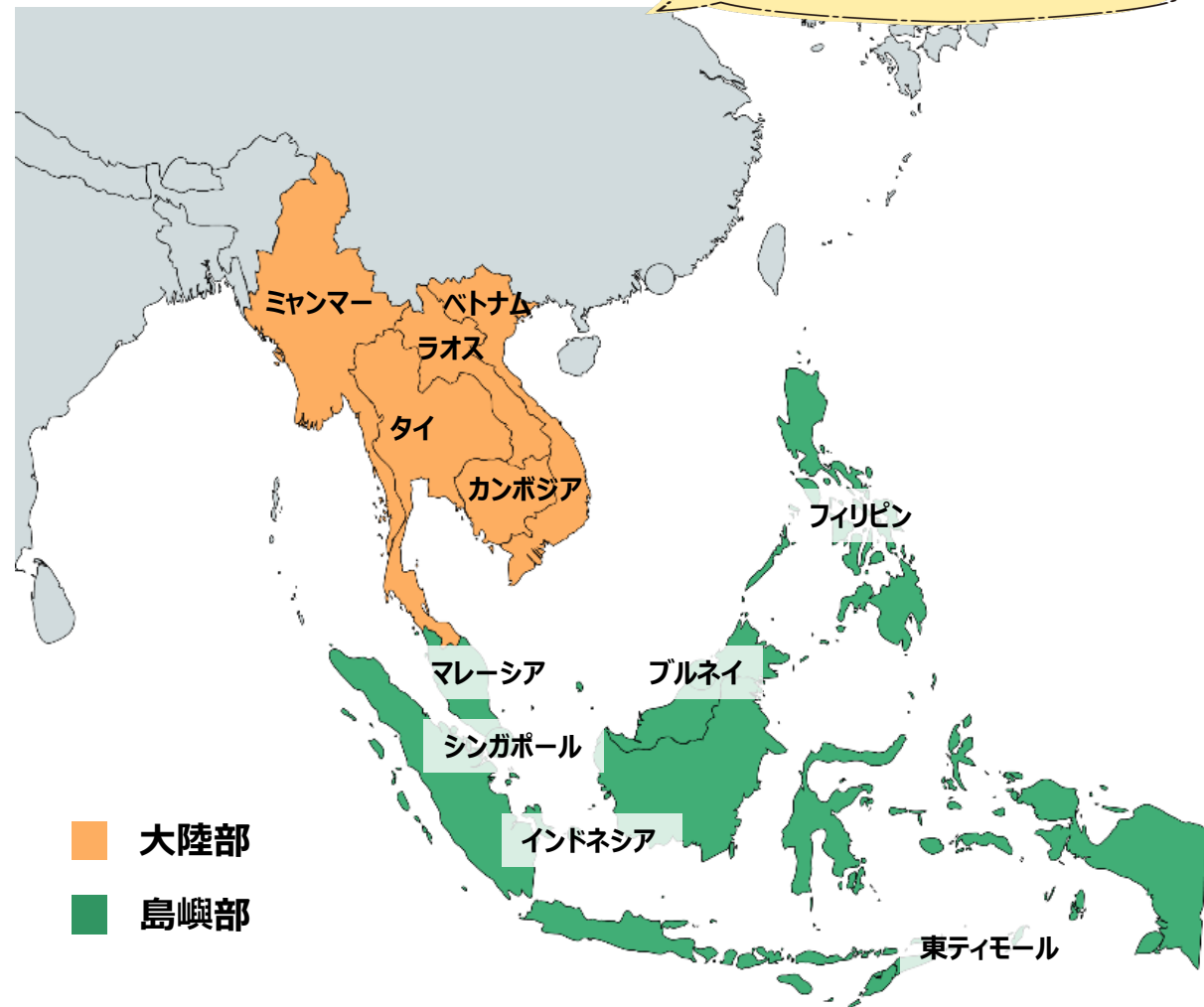
サブジェクト・ライブラリアンとして

東南アジアを
3人で分担しています

東南アジア関連の**レファレンス**

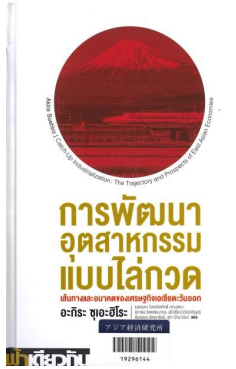
東南アジア資料の**選書**

現地での**資料収集・資料調査**



カタログ (目録担当者) として

タイ語、ビルマ語、ラオ語、
クメール語を担当



การพัฒนาอุตสาหกรรมแบบไร้พรมแดน : เส้นทางและ
อนาคตของเศรษฐกิจเอเชียตะวันออก, : ปกแข็ง
การพัฒนา อุตสาหกรรม แบบ ไร้พรมแดน : เส้นทาง และ อนาคต ของ เศรษฐกิจ เอเชีย ตะวัน
ออก
อะกิระ ชูเอะฮิโระ, เขียน ; เนตรนภา ไททย์เลิศศักดิ์ (ยานุชิตะ) ... [et al.], แปล
พิมพ์ครั้งที่ 1
นนทบุรี : ฟ้าเดี๋ยวกัน, 2565 [2022]

タイ語

末廣昭氏『キャッチアップ型工業化論』タイ語翻訳版



နိုင်ငံတော်၏အတိုင်ပင်ခံပုဂ္ဂိုလ် ဒေါ်အောင်ဆန်းစုကြည်
လျှောက်လမ်းခဲ့သော ပြည်ထောင်စုအရီးလမ်း
(၂၀၁၆-၂၀၂၀)
[နေပြည်တော်?] : ပြန်ကြားရေးဝန်ကြီးဌာန, 2020



ビルマ語 (ミャンマー語)

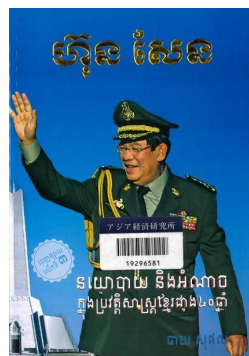
アウンサンスーチー
演説集



ການປະເມີນຜົນເຄິ່ງທົດສະວັດ ການສຶກສາເພື່ອ
ທຸກຄົນ
ການປະເມີນ ຜົນ ເຄິ່ງ ທົດສະວັດ ການສຶກສາ ເພື່ອ ທຸກ ຄົນ
ວຽງຈັນ : ກະຊວງສຶກສາທິການ, 2008

ラオ語 (ラオス語)

ラオス教育省による
教育の評価



ហ៊ុន សែន : នយោបាយ និងអំណាចក្នុងប្រវត្តិសាស្ត្រ
ខ្មែរជាង៤០ឆ្នាំ
ហ៊ុន សែន : នយោបាយ និង អំណាច ក្នុង ប្រវត្តិ សាស្ត្រ ខ្មែរ ជាង ៤០ ឆ្នាំ
នាយ សុផល
បោះពុម្ពលើកទី៣
ភ្នំពេញ : [s.n.], 2019



クメール語 (カンボジア語)

フン・セン首相の
伝記

「両立」は必須ではないが...

両者の性格は異なる。
みんながみんな、全部
できなくても良い。

サブジェクト・ライブラリアン

- レファレンス
- 蔵書構築・選書

仕事内容

- 主題、蔵書に対する知識・専門性
- サービス精神
- コミュニケーション能力

適正

- ライブラリアン全員に**専門地域**あり
(※システム・ライブラリアンを除く)

アジ研の
場合

カタログガー

- 書誌作成

- 目録規則等のルールに習熟
- 各言語に対する知識
- 細部への目配り

- 専門地域の資料が**多言語(AA
諸語)**の場合に担当

ただ、多くの人材を確保できない現状で、
言語の知識を持つサブジェクト・ライブラリア
ンが、カタログガー掛け持ちを求められる。



問

どうすれば「両立」できる？

- サブジェクトライブラリアンとカタログ

- **アジ研図書館の多言語目録**

- アジ研図書館の業務体制と課題

- 両立と連携に向けて



アジア研図書館とは

- 「開発途上国」研究の専門図書館

- 蔵書約72万冊

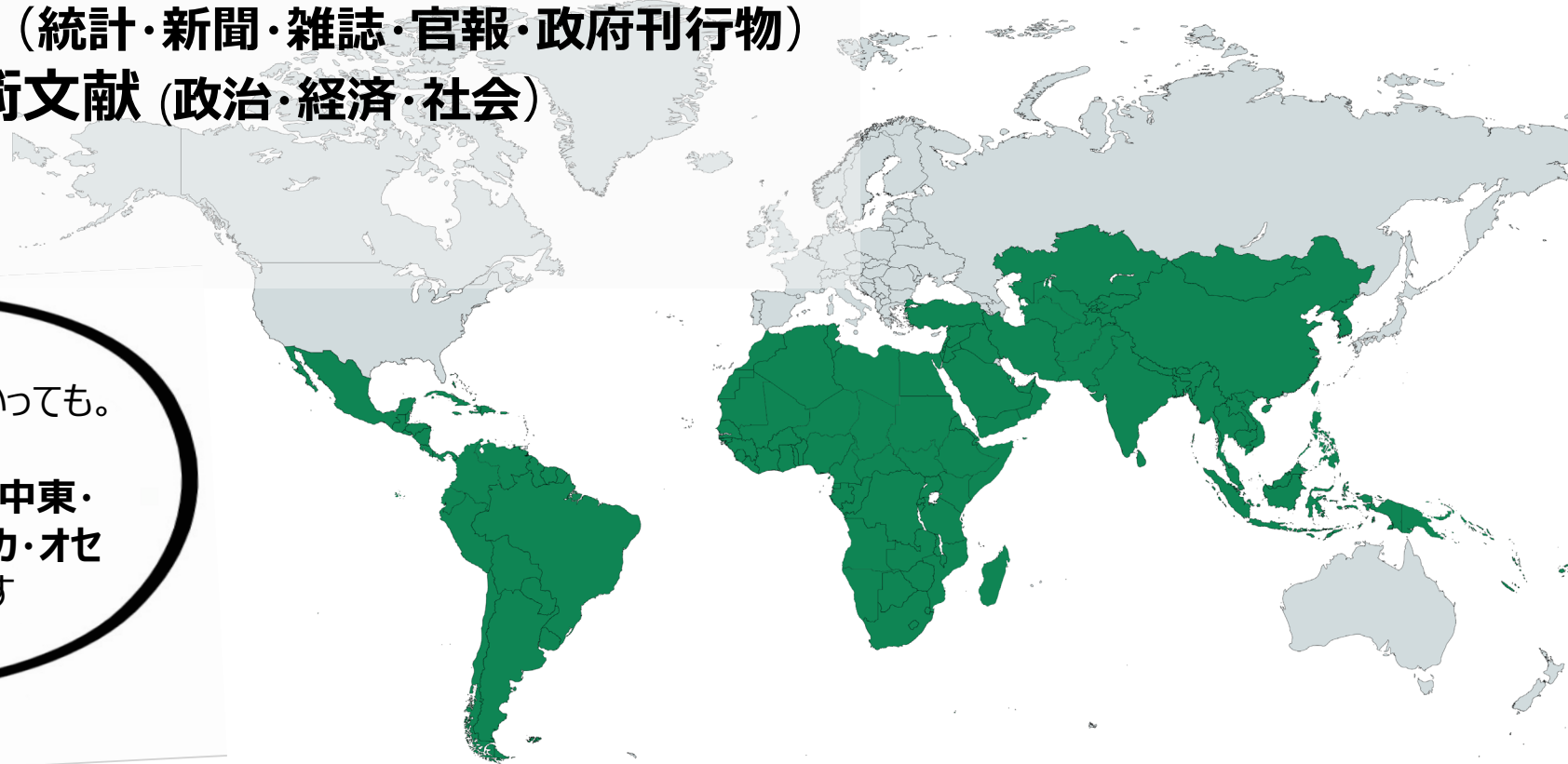
- ✓ 開発途上国の一次資料（統計・新聞・雑誌・官報・政府刊行物）
- ✓ 開発途上国に関する学術文献（政治・経済・社会）

- 一般公開しています

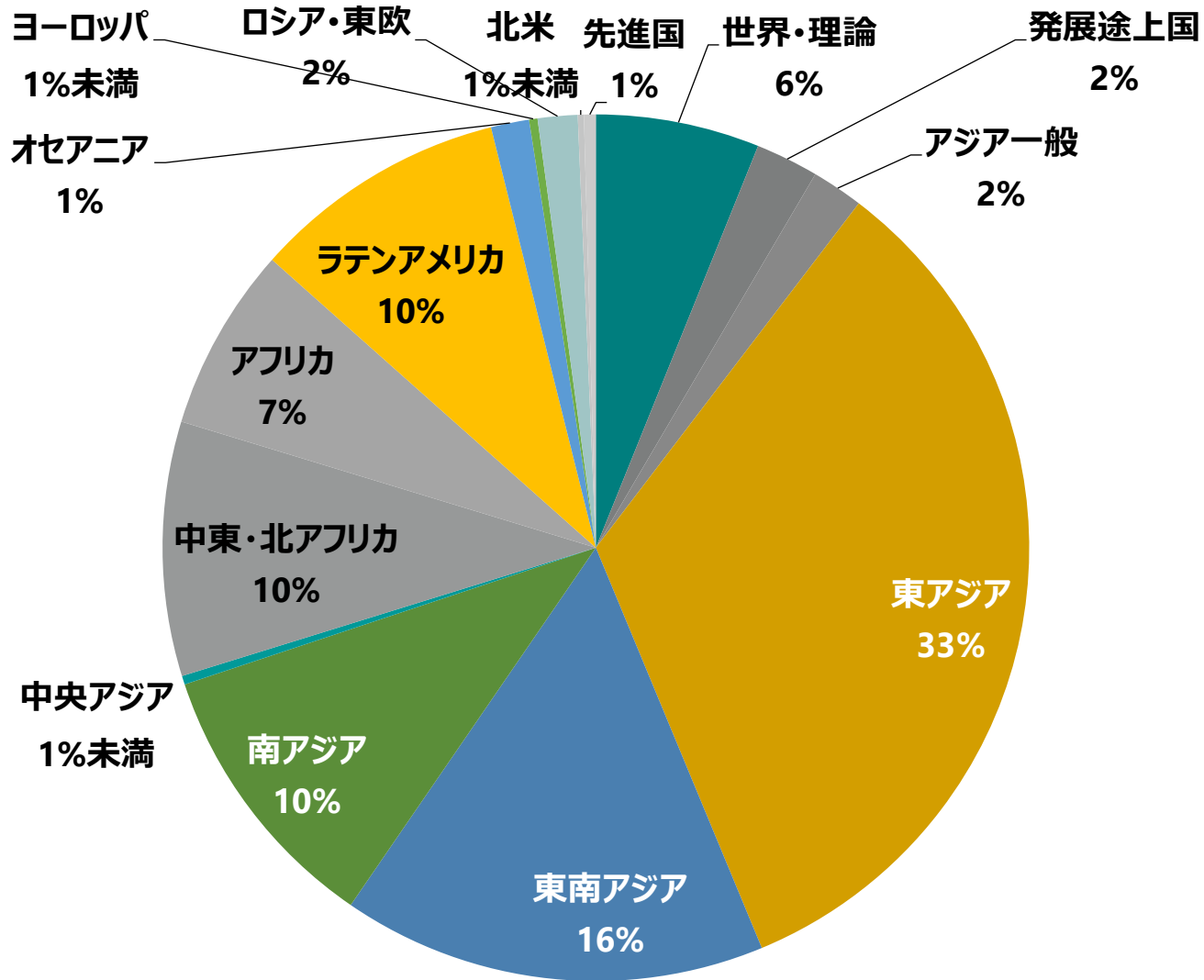
「アジア経済研究所」
ですが、研究対象は「アジア」
だけでも「経済」だけでも
ありません

「開発途上国」としても。

アジア（日本除く）・中東・
アフリカ・ラテンアメリカ・オセ
アニア諸国が対象です



蔵書構成とライブラリアン



サブジェクト (エリア) ・ライブラリアン

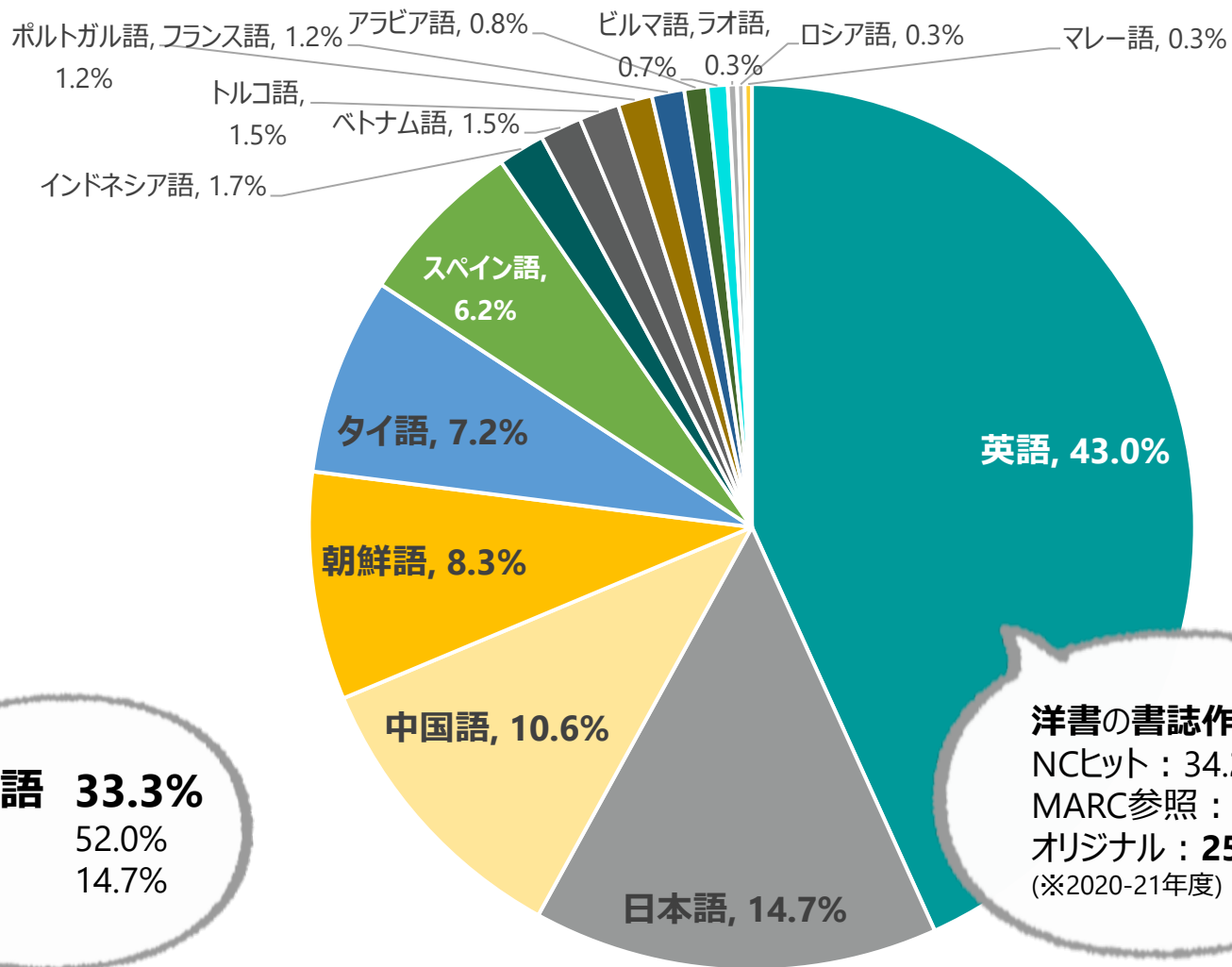
■ 中華圏	5名
■ 朝鮮半島	2名 <small>(内1名は中華圏と兼任)</small>
■ 東南アジア	3名
■ 南アジア	1名
■ 中東・北アフリカ	2名
■ アフリカ	1名
■ ラテンアメリカ	2名

※地域横断の資料は館長が統括

加えて、2名のシステム・ライブラリアン

近年の 図書整理状況 (2018-2021年度)

	英語	9,111冊
	日本語	3,116冊
	中国語	2,250冊
	朝鮮語	1,754冊
	タイ語	1,520冊
	スペイン語	1,307冊
	インドネシア語	360冊

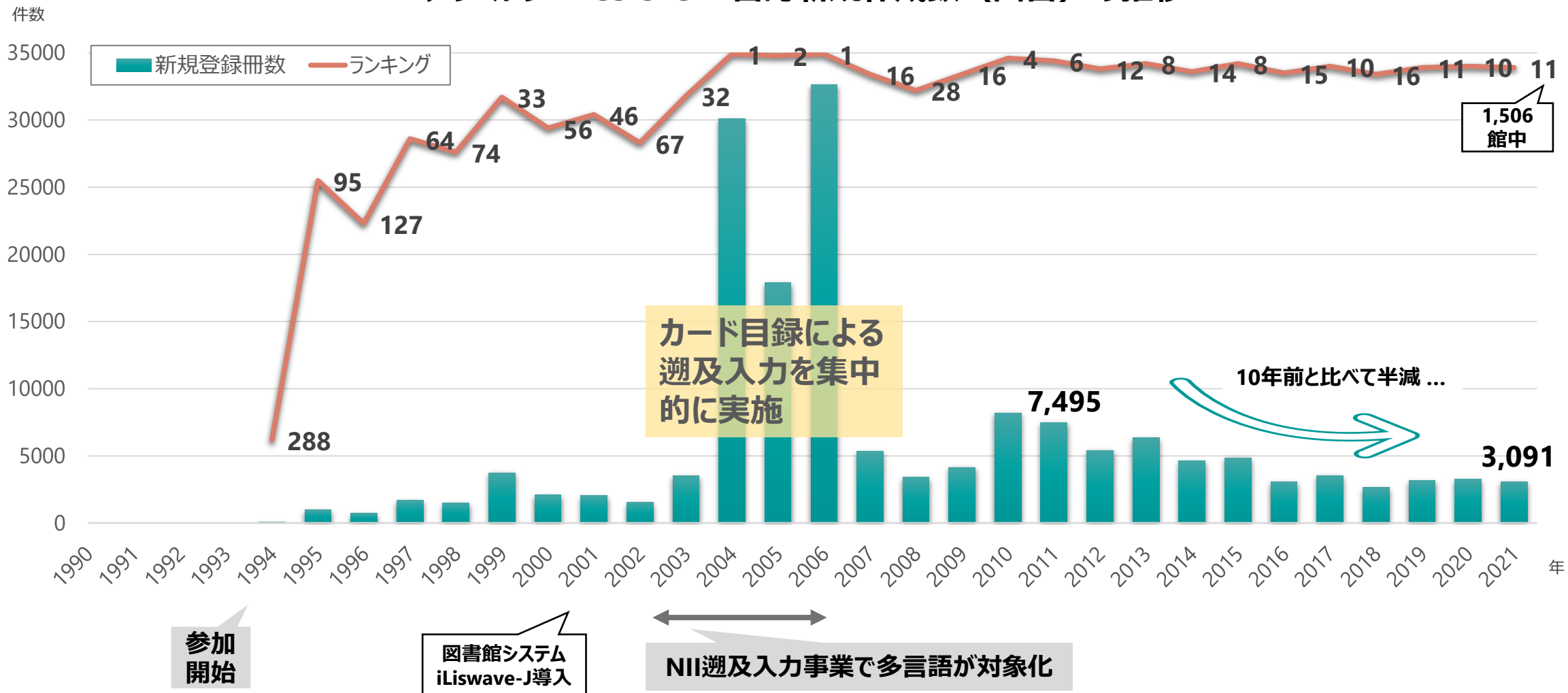


多言語 33.3%
 洋書 52.0%
 和書 14.7%

洋書の書誌作成
 NCヒット：34.2%
 MARC参照：40.3%
 オリジナル：25.5%
 (※2020-21年度)

NACSIS-CAT への参加

アジ研のNACSIS-CAT書誌新規作成数（図書）の推移



- ・「[書誌新規作成館統計（2021年度）](#)」（NII）を元に報告者作成
- ・【参考】伊藤えりか (2010)「[目録所在情報サービス\(NACSIS-CAT/ILL\)への参加](#)」『アジ研ワールド・トレンド』174号

書誌新規作成 からみえること

NACISIS-CAT書誌新規作成数（図書）

作成数上位の図書館の特徴

- 蔵書規模が大きい
⇔ アジ研は約72万冊（相対的に小）
- 1990年からNACISIS-CATに参加し、大規模な遡及入力を早くに実施
⇔ アジ研は2000年代以降（相対的に遅）

なぜ？

書誌新規作成 ≡ 国内で最初に受入れ

- 新刊の収集・整理が早い
- 他館にない希少性の高い資料が多い**
← どちらかというところら
✓ アジ研が目録を重視すべき理由

目録の公開は
資料の存在の
発信

ポイント

No. 参加組織（計1,506館）	2021年度 までの累計
1 同志社大学 図書館	346,829
2 北海道大学 附属図書館	339,507
3 九州大学 中央図書館	279,521
4 立命館大学 図書館	195,097
5 東京大学 総合図書館	174,563
6 神戸大学 附属図書館 社会科学系図書館	167,857
7 日本貿易振興機構 アジア経済研究所 図書館	167,226
8 大阪市立大学 学術情報総合センター	165,044
9 名古屋大学 附属図書館	164,765
10 一橋大学 附属図書館	164,147
11 東北大学 附属図書館	157,780
12 明治大学 図書館	157,027
13 東京外国語大学 附属図書館	150,820
14 東京大学 大学院人文社会系研究科・文学部 図書室	147,038
15 国立民族学博物館 情報管理施設	144,131
16 立教大学 図書館	135,774
17 筑波大学 附属図書館 中央図書館	132,699
18 大阪大学 附属図書館 総合図書館	118,303
19 京都大学 文学研究科 図書館	116,352
20 桐朋学園大学 附属図書館	113,230

・「[書誌新規作成館統計（2021年度）](#)」（NII）を元に報告者作成

- サブジェクトライブラリアンとカタログ

- アジ研図書館の多言語目録

- **アジ研図書館の運営体制と課題**

- 両立と連携に向けて



図書館の運営体制

- サブジェクト・ライブラリアンは各班に配置され、
- **班業務と担当地域・言語に関する業務を「兼務」する**

学術情報センター

図書館情報課

成果出版課

総括班

企画立案・運営
予算管理
資料調達
センター全体の統括

情報発信班

資料情報の整理・発信 [次頁へ](#)
図書館システム
デジタルアーカイブ
ウェブサイト管理・運営

情報サービス班

サービス提供・利用者対応
閲覧環境整備
展示・講演会

(※地域・言語に関する業務は班業務に押され気味...)

目録の業務分担

資料の**使用言語**によって
分担が異なります

民間業者
への委託

和資料 <日本語>

書誌事項記入

NC登録

分類・件名付与

洋資料 <欧米諸語>

書誌事項記入

NC登録

分類・件名付与

多言語資料 <AA諸語>

書誌事項記入

NC登録

分類・件名付与

情報発信班

サブジェクト・ライブラリアン
(各言語担当)

多言語目録の課題 ① 人繰り・時間づくり



人が足りない

- 各言語に、常に担当者を充てられるわけではない
 - ✓ 新人採用の滞り、他部署への異動、海外派遣 ...



時間も足りない

- 図書館を動かすのは「班業務」
 - ✓ 班業務に時間をとられてしまう
 - ✓ ノルマのない多言語目録はすき間時間に ...
- 時間+言語間の壁により、情報共有が不十分
 - ✓ 多言語目録は個々人の努力に依存
 - ⇒ 本当は言語をまたいで相談できる場が重要

この解消は
難しそう

ここは頑張らない
といけない

多言語目録の課題 ② スキルの共有・継承

言語能力 = 目録スキルではない

- 目録規則、NIIコーディングマニュアル、LC翻字形に習熟する必要
- ✓ 書誌作成に必要な情報を資料から読み取れるか
- ✓ 書誌の細部（ミス含む）に気づけるか



目録スキルは一朝一夕にはいかない

- 沢山の数をこなす
- 長い時間かけて丁寧に教える

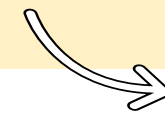
言語ごとに相違点・注意点があり

- 固有文字の入力に加え、LC翻字と分かち書きが曲者
- 目録規則における多言語資料の扱いはマイナー部分で、
ルールの浸透が困難
 - Ex. タイ人名は倒置せず、カンマも入れない
 - ビルマ語分かち音節区切り、ただし外来語は単語区切り



一言語ひとり体制の限界

- マイナールールは口伝が重要
- とはいえ一言語に複数人を割り当てる余裕がない



図書館間の連携への期待

- サブジェクトライブラリアンとカタログ

- アジ研図書館の多言語目録

- アジ研図書館の業務体制と課題

- **両立と連携に向けて**



「両立」に向けて

なぜ目録が必要？

- ・ 資料の存在証明 だから

目録の難しさは？

- ・ 経験が必要なのに 時間をとれない
・ スキルの継承が安定しない

カタログとサブジェクト・ライブラリアンは両立できる？

- ・ 目録を(細々とでも) 継続することで可能
✓ そのために、言語間・図書館間の恒常的な連携が必要

カタログのネットワーク化は可能？

図書館をまたいだスキルの共有

先進
事例



LC翻字形への変換システム

□ 東京外国語大学附属図書館

- <http://vernac.jp/cat/>
- ロシア語、ヒンディー語、アラビア語の原綴り⇔LC翻字の入力支援

□ タイ・タマサート大学図書館

- <http://164.115.23.167/plangsarn/>
- タイ語の原綴り⇒LC翻字の入力支援

一館で対応しきれない知識・スキルの共有は、他館によって様々な形で行われ、助けられてきました。
(ありがとうございます!)



書誌作成ワークショップ

□ 東京大学附属図書館 U-PARL

- アジア言語資料の目録作成ワークショップ
- チベット語、ペルシア語・アラビア語、ウルドゥー語、現代ウイグル語



書誌・言語のポイントの共有

□ 国立国会図書館

- Dupertuis Noémi-Tiina 「[ビルマ語資料の検索・書誌作成のポイント](#)」『アジア情報室通報』第20巻第4号（2022.12）

□ 東京大学附属図書館 U-PARL

- 澁谷由紀・宇戸優美子・佐藤章太編『[ライブラリアンのためのベトナム語・タイ語用語集](#)』(2021.11)



ありがとうございました！

ຂອບໃຈຫຼາຍໆ

ขอขอบคุณมากค่ะ

ကျေးဇူးအများကြီးတင်ပါတယ်

2019年10月、ミャンマー・ヤンゴンの朝